

第58期 第2四半期 報告書

平成30年3月1日▶平成30年8月31日



you
me

株式会社 イズミ



“日本一の高質リージョナル総合スーパー”を目指して、成長分野への経営資源投入を一段と強化します。

代表取締役社長
山西泰明

youme

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期におけるわが国の経済は、世界経済の先行きに不透明感が高まり、賃金の伸びも低水準であることなどから、消費者のデフレマインドは一段と強まり販売が低調に推移するなど厳しい状況が続きました。

また、「平成30年7月豪雨」により、当社グループにおいては被災地域の一部店舗で被害を受けました。広島県内2店舗、岡山県内1店舗の計3店舗において、店内浸水等による被害が発生し、うち2店舗について営業を再開しました。さらに、被災地救援を目的としての支援活動、これら3店舗を除くグループ199店舗において災害義援金募金活動を展開し、1日も早い被災地の復興に向けた取り組みに注力しました。

このような状況の下、当社グループにおいては“日本一の高質リージョナル総合スーパー”を目指し「中期経営計画」を策定し、これまで以上に積極的な成長戦略、競争力強化、人材育成の施策を打ち出し、その展開をはじめました。また機構改革により、販売促進、お客様サービス、店舗業務の生産性改善、情報システムのデジタル化を一体的に推進する「未来創造推進本部」を設置し、将来のあるべき小売業の姿を再定義する取り組みをスタートさせました。

主力の小売事業では、リアル店舗としての付加価値提案力を高めることでお客様満足の追求を推し進めました。

商品面では、競争力のあるMD戦略“いいものを安く”的

域を拡大するとともに、既存領域でも顧客価値の創造を推し進めました。また高品質で付加価値の高い商品カテゴリーの掘下げを行うとともに、依然残るデフレマインドへの対応として価格戦略を強化しました。

店舗面では、4月に「ゆめタウン徳島」「ゆめタウン行橋」をリニューアルオープンし、また8月には西友より譲り受けた「ゆめタウン下松」「ゆめタウン姫路」で一部運営を開始しました。さらに株式会社セブン&アイ・ホールディングスと業務提携に関する合意書を締結し、マスメリット獲得やドミニント拡充に向けて協議を開始しました。

販売動向に関しては、春先には天候不順や引っ越し難民などの影響もあり、衣料品や食料品、新生活関連品の需要が伸び悩むなどの状況もありましたが、「これ旨」など付加価値の高い食料品投入や購買頻度の高いコモディティ商品を対象とする「毎日のくらし応援!ザ・値下げ最大340品目」を開始するなどした結果、夏場以降、食料品を中心に販売は復調し、お中元等のギフト需要も堅調に推移しました。

小売周辺事業では、電子マネー「ゆめか」とクレジットカードにおける新規会員獲得を進めるとともに、外部加盟店での取扱いを拡大することで、取扱高の拡大を図りました。「ゆめか」の累計発行枚数は前期末684万枚から当第2四半期末では715万枚に達しました。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

進化し、深化する「youme」を。

地域になくてはならない存在。私たちは「地域一番店」を目指します。



連結財務ハイライト

営業収益

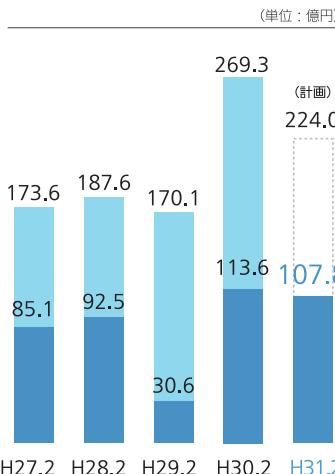
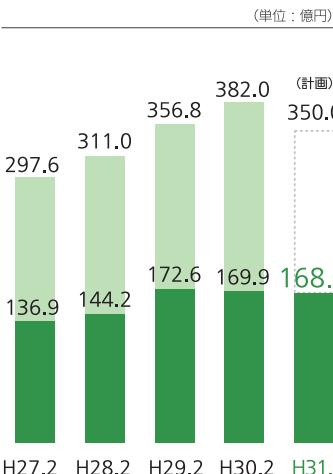
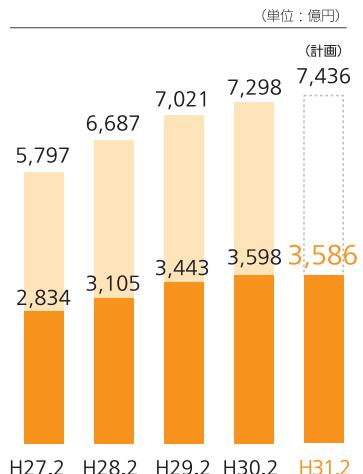
3,586 億円	前年同期比 99.7%
----------	----------------

経常利益

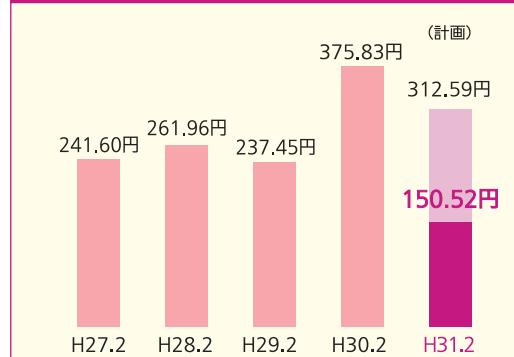
168.3 億円	前年同期比 99.1%
----------	----------------

親会社株主に帰属する四半期純利益

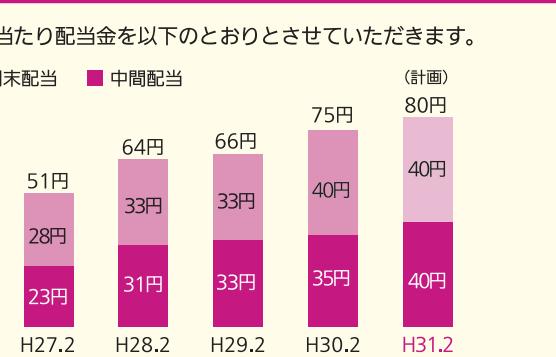
107.8 億円	前年同期比 94.9%
----------	----------------



1株当たり当期(四半期)純利益



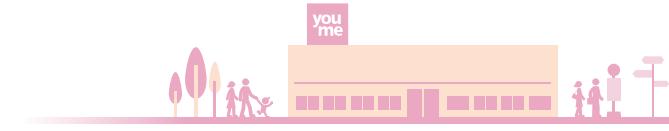
1株当たり配当



地域に密着し、地域に愛される店づくりを、 中四国、九州エリアで加速させています!

イズミは「日本一の高質リージョナル総合スーパーをめざして、
よりきめ細かなドミナント化を進めるため
「ゆめタウン」「ゆめマート」の出店を加速しています。

地域に密着し、地域のお客さまの暮らしをより便利にする店舗戦略の最新情報をお届けします。



ゆめマート城野

福岡県北九州市

2018年9月20日
OPEN!

食や健康、暮らしに便利な機能をコンパクトに集約!

出店地である北九州市城野地区は、小倉中
心市街地から南に約3km、JR日豊本線や
国道10号線がある交通利便性に優れた住
宅地エリアです。「ゆめマート城野」はその
JR城野駅南口駅前広場に面し、駅利用者や
周辺にお住まいの皆さまの生活に密着し
た新しい商業施設として誕生しました。

店内にはイズミ直営の食品スーパーを中
心に、毎日の便利さと健康を追求するド
ラッグコーナーや、焼きたてパンやできた
てのお惣菜を楽しめるイトインコーナーも
整備。生鮮食料品から普段の生活に欠か
せない日用品、各種サービスまで、ワンス
トップですべて揃う便利な食品スーパーと
してスタートしました。



店舗概要 •敷地面積／約9,520m²・延床面積／約2,860m²・店舗面積／約2,020m²・駐車台数／140台・駐輪台数／76台

ゆめタウン下松

山口県下松市

2018年10月13日
OPEN!

25年間愛されてきた人気店から バトンを受けて再スタート!

「ゆめタウン下松」は、下松市の商業・文化の中心地にある「下松タウンセンター」の中で25年間地域の人に愛されてきた西友の「ザ・モール周南」からバトンを受け、新たな核テナントとしてリニューアルした店舗です。イズミでは地域の皆さまからさらに愛される店舗にするため、店内レイアウトを専門店と直営売場の回遊性を考えたサーキットモール型に改修し、鮮度と価格にこだわった食品売場や地域待望のフードコートも整備(来年2月オープン予定)するなどして、魅力をさらに拡大して再スタートさせました。



充実の品揃えと居心地のよい環境

地域の皆さまから日常的に愛される店をめざして、食品売場では鮮度と価格にこだわった生鮮食品や惣菜コーナーを充実させるとともに、地域のニーズに対応した生活提案を行います。また店内には、ゆったりとした広場や子どもの遊び場、休憩用のソファなどを設置し、親子3世代が心地よく買い物できる環境を整えました。



来年2月に「瀬戸風フードテラス」完成

第2期の活性化策として、来年2月には山口県東部最大級の500席の空間によるフードコートオープンを予定しています。「賑わい」×「居心地」×「温もり」をテーマにした瀬戸内の自然を感じる居心地のよい空間にご期待ください。



店舗概要 •敷地面積／約56,900m²・延床面積／約77,400m²・店舗面積／約20,500m²・駐車台数／約2,000台・駐輪台数／約600台

わくわくの新店、次々にオープン!

「3年間で40店舗計画」にそって、ぞくぞく出店中!

イズミは中期経営計画で掲げた「3年間で40店舗計画」という目標に向けて、現在6店舗がオープン準備中です。「日本一の高質リージョナル総合スーパー」をめざして中国・四国・九州地方でのドミナント戦略を着々と進めるイズミの出店計画にご期待ください。



ゆめタウン姫路

兵庫県姫路市

2018年・冬
OPEN予定

兵庫県2店舗目のゆめタウンの誕生です!

「ゆめタウン姫路」は西友から譲り受けたGMS店舗のひとつで、平成6年に姫路市に誕生し、永年地域の皆さまから愛されてきた店舗です。

イズミが培ってきた「ゆめタウン業態」のノウハウを活かし人気のある専門店を多彩に導入するとともに、味と居心地にこだわった約400席のフードコート、ゆったり過ごせるレストスペースなど、魅力を大幅に拡大して再スタートします。



店舗概要 •敷地面積／約40,800m²・延床面積／約56,800m²・店舗面積／約28,200m²・駐車台数／約800台



今後オープン予定の店舗

ゆめマート久米
[岡山県岡山市]

2018年11月6日OPEN

【店舗概要】
・店舗面積／約1,895m²
・駐車台数／155台

ゆめマート木太
[香川県高松市]

2018年・秋OPEN予定

【店舗概要】
・店舗面積／約1,880m²
・駐車台数／120台

ゆめマート南小野田(仮称)
[山口県山陽小野田市]

2019年・春OPEN予定

【店舗概要】
・店舗面積／約1,880m²
・駐車台数／114台

ゆめマート日田(仮称)
[大分県日田市]

2019年・春OPEN予定

【店舗概要】
・店舗面積／約2,350m²
・駐車台数／155台

ゆめマート三田尻(仮称)
[山口県防府市]

2019年・春OPEN予定

【店舗概要】
・店舗面積／約1,540m²
・駐車台数／95台



西日本豪雨災害にも、過去の教訓を活かして迅速かつ柔軟に対応しました。

平成30年7月、広島、岡山、山口など、中国から九州、四国にかけての西日本を中心に、記録的な豪雨が襲いました。豪雨は広い地域で土砂崩れを発生させ、住宅や建物を破壊し、道路、鉄道網を寸断しました。

イズミグループは7月6日、各地の大暴雨特別警戒警報発令を受けすぐに被害状況の把握に努めるとともに、翌7日午前には災害対策本部を立ち上げました。グループ内で営業が不能になるほど大きな被害を受けた店舗は10店舗ありましたが、その日の午後には、7店舗で営業を再開。さらに7月17日には、最も被害の大きかったゆめマート安浦を除くすべての店舗で営業を再開することができました。

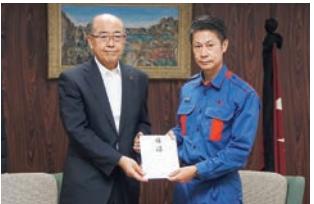


ゆめタウン平島の周辺は広範囲の浸水に

義援金と復興支援金を寄託・寄贈しました。

豪雨災害に対し7月10日よりイズミグループ各店で募金活動を行い、お客さまから寄せられた義援金15,234,918円を、日本赤十字社に寄託しました。

またイズミ及び創業家より、広島県・岡山県に、復興支援金として総額9億円を寄贈しました。



広島県の湯崎英彦知事に目録を贈呈

道路・鉄道が通行不能になった呉地区店舗へは、海路で商品を配送しました。



広島・山口・岡山県では幹線道路や鉄道が通行不能になり、店舗への配送が困難になりました。特に被害の大きかったのは広島県呉地区で、主要道路は通行不能になりJRも運休したことから、呉市は一時「陸の孤島」状態となりました。イズミはこうした状況の中で被災地へ水や食料などを商品を配達するため、代替の輸送手段としてフェリーをチャーターして活用。船会社と連携し、1日3便計6台の配送トラックに水や食料を満載して呉港まで送り続けました。

断水の中「助かった!」との声

呉地区は広域で断水となり、市民生活に深刻な影響を与えていました。7月10日からフェリーをチャーターし、配送体制を整えたことから徐々に水を中心とした商品が行き渡るようになり、13日にはほぼ通常の品揃えができるまでに回復しました。お客さまからは「助かった」とのお声を多くいただきました。



商品到着直後のゆめタウン呉店内

ともに「夢」を育てるイズミグループ

株式会社 ゆめカード



10月25日より、 セブン-イレブンでの電子マネー「ゆめか」利用開始！ ゆめタウンでのnanaco利用開始！

10月25日より、セブン-イレブン(西日本のゆめタウン・ゆめマート出店県の約4,000店舗)で電子マネー「ゆめか」が利用できるようになりました。

また、ゆめタウン・ゆめマート(イズミグループの全店舗含む^{※1})では、株式会社セブン・カードサービスが発行する電子マネー「nanaco」を利用できるようになりました。

電子マネーの「ゆめか」と「nanaco」の相互導入を行うことで、会員様の利便性向上と、双方での新たな客層の送客が期待できます。

※1.専門店、セルフレジ等の一部売場を除きます。

キャッシュレス決済推進とお客様ニーズの充足を図ります。

支払い手段が多様化する中で、お客様ニーズに応えるため、利用先の拡大、サービスの拡充を図ってまいります。

①飲料自動販売機でのゆめか決済に対応

5月より、一部店舗の飲料自販機でのゆめか決済が可能となりました。

今後、利用可能販売機を順次拡大してまいります。

②7月より、スマホ決済「Apple Pay」に対応

ゆめタウン・ゆめマート^(※2)を含む全国のQUICPay加盟店で、

iPhoneをかざすだけで簡単にゆめカードでのクレジット決済が可能になりました。

スマホ決済ニーズに対応することで、特に若年層の取込みが期待できます。

※2.専門店、セルフレジ等の一部売場を除きます。



イズミグループは、小売事業を中心とし、無駄のないスリムなグループ構造を維持すると同時に、その他関連事業とのシナジー効果を追求してまいります。

各グループ企業が、それぞれの特性を活かしつつ、積極的に事業展開することで、お客様に新たな驚きと感動をお届けしてまいります。

株式会社 スーパー大栄

「ゆめマート稻築」を5月に リニューアルオープンしました。

5月29日、「ゆめマート稻築(福岡県嘉麻市)」がリニューアルオープンいたしました。地域商材・青果ギフトの導入、銘店コーナーの新設など、店内を大改装いたしました。特に、書店風の陳列を導入したレトルトカレーコーナーは「今までに見たことがない」と、お客様から驚きと称賛の声をいただいています。また、ご高齢のお客様が多い店舗のため、今回新しく設置した休憩スペースも好評です。



株式会社 ユアーズ

広島駅ekie2階に 「アバンセ」新店をオープンしました。

9月6日、JR広島駅の商業施設ekie2階にお土産と飲食の新ゾーンが完成し、「アバンセekie広島駅店」を出店しました。「旅路に、家路に。広島、いいもの」をキャッチフレーズにした「広島・瀬戸内の高質食品セレクトショップ」です。アバンセの品質基準・品揃えでワンランク上の店舗を目指します。また、当社が提案する「くらし応援宣言」の柱である「健康」「簡便」「地元商品」を扱うアンテナショップとしての機能を充実させ、既存店の強化にもつなげていきます。



イズミ・フード・サービス 株式会社

新規事業「いしがまやハンバーグ」フランチャイズ1号店が「ゆめタウン徳島」にオープン！

関東を中心に話題の「いしがまやハンバーグ」が、当社の新規事業として、8月1日、「ゆめタウン徳島」にオープンいたしました。

落ち着いた店内、上質なハンバーグ、おもてなしのサービスが好評をいただき、売上も順調に推移しております。これからも、お客様に喜んでいただけるお店づくりに努めてまいります。



業績ハイライト

営業収益	
3,586億円	前年同期比 99.7%

経常利益	
168.3億円	前年同期比 99.1%

親会社株主に帰属する四半期純利益	
107.8億円	前年同期比 94.9%

連結決算の推移

	通期			第2四半期	
	平成29年2月	平成30年2月	平成31年2月計画	平成29年8月	平成30年8月
営業収益	702,121	729,857	743,600	359,859	358,626
前年同期比	105.0%	104.0%	101.9%	104.5%	99.7%
営業利益	35,670	38,487	35,200	17,102	16,788
前年同期比	111.8%	107.9%	91.5%	99.1%	98.2%
経常利益	35,688	38,208	35,000	16,991	16,833
前年同期比	114.7%	107.1%	91.6%	98.4%	99.1%
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	17,015	26,932	22,400	11,360	10,786
前年同期比	90.7%	158.3%	83.2%	371.0%	94.9%
総資産	476,885	479,867	—	483,522	487,162
純資産	171,963	194,851	—	181,610	202,793
1株当たり四半期(当期)純利益	237.45円	375.83円	312.59円	158.53円	150.52円
1株当たり純資産	2,240.66円	2,553.14円	—	2,368.78円	2,661.79円

[参考] 単体決算の推移

	通期			第2四半期	
	平成29年2月	平成30年2月	平成31年2月計画	平成29年8月	平成30年8月
営業収益	648,030	683,850	696,500	336,818	335,954
前年同期比	106.4%	105.5%	101.8%	107.7%	99.7%
営業利益	30,222	32,017	28,400	13,996	13,739
前年同期比	107.1%	105.9%	88.7%	95.6%	98.2%
経常利益	30,139	31,918	28,300	13,982	13,873
前年同期比	110.2%	105.9%	88.7%	95.3%	99.2%
四半期(当期)純利益	14,438	23,370	18,600	9,601	9,129
前年同期比	81.1%	161.9%	79.6%	430.9%	95.1%
総資産	385,727	392,065	—	388,895	404,336
純資産	133,406	151,834	—	140,463	157,958
1株当たり配当金	66.00円	75.00円	80.00円	35.00円	40.00円

連結財務諸表

[連結] 貸借対照表

	前期末		当第2四半期末		前期末		当第2四半期末	
	H30.2.28	H30.8.31	H30.2.28	H30.8.31	H30.2.28	H30.8.31	H30.2.28	H30.8.31

(資産の部)	(負債の部)			
流動資産		流動負債		
現金及び預金	8,410	支払手形及び買掛金	34,649	37,511
受取手形及び売掛金	37,245	短期借入金	24,670	30,060
商品及び製品	28,047	1年内返済予定の長期借入金	28,616	28,798
仕掛品	81	未払法人税等	8,577	5,808
原材料及び貯蔵品	452	賞与引当金	2,028	2,640
その他	17,651	役員賞与引当金	16	17
貸倒引当金	△ 827	ポイント引当金	2,436	2,672
流動資産合計	91,062	商品券回収損失引当金	145	145
固定資産		その他	21,080	23,895
有形固定資産		流動負債合計	122,220	131,550
建物及び構築物(純額)	163,290	固定負債		
土地	159,178	長期借入金	118,581	107,384
その他(純額)	11,079	役員退職慰労引当金	1,719	2,172
有形固定資産合計	333,548	利息返還損失引当金	85	45
無形固定資産		のれん	5,263	4,820
		退職給付に係る負債	7,777	8,013
		その他	8,281	8,349
		資産除去債務	7,784	7,889
無形固定資産合計	13,545	その他	26,845	27,312
投資その他の資産		固定負債合計	162,794	152,819
その他	42,254	負債合計	285,015	284,369
貸倒引当金	△ 543	(純資産の部)		
投資その他の資産合計	41,711	株主資本		
固定資産合計	388,805	資本金	19,613	19,613
		資本剰余金	22,247	22,247
		利益剰余金	139,951	147,871
		自己株式	△ 18	△ 23
		株主資本合計	181,795	189,709
		その他の包括利益累計額		
		その他有価証券評価差額金	1,580	1,377
		退職給付に係る調整累計額	△ 418	△ 347
		その他の包括利益累計額合計	1,161	1,030
		非支配株主持分	11,894	12,052
		純資産合計	194,851	202,793
資産合計	479,867	負債純資産合計	479,867	487,162

資産・負債の状況	
総資産	4,871億円

前期末比 ▷ 72億円増加

- 当第2四半期の設備投資額は13,226百万円であり、これは主に店舗新設等によるものです。有形固定資産は、減価償却実施後で5,077百万円増加しました。
- 受取手形及び売掛金は、クレジット取扱高の増加等により2,332百万円増加しました。

負債	2,843億円
前期末比	6億円減少

- 支払手形及び買掛金は、季節的な要因等により2,862百万円増加しました。
- 未払法人税等は、当第2四半期中の納付により2,769百万円減少しました。
- 流動負債その他は、店舗新設に係る設備未払金の増加等により2,814百万円増加しました。
- 短期借入金及び長期借入金は、5,624百万円減少しました。

純資産の状況	
純資産	2,027億円

前期末比 ▷ 79億円増加

- 利益剰余金は、配当支出により減少した一方、内部留保の上積みにより7,919百万円増加しました。
- これらの結果、自己資本比率は39.2%となり、前期末の38.1%に比べて1.1ポイント上昇しました。

連結財務諸表

[連結] 損益計算書

	単位:百万円	
	前第2四半期 H29.3.1~H29.8.31	当第2四半期 H30.3.1~H30.8.31
営業収益	359,859	358,626
売上高	343,228	341,652
売上原価	267,495	266,191
売上総利益	75,733	75,461
営業収入	16,630	16,973
営業総利益	92,363	92,434
販売費及び一般管理費	75,260	75,646
営業利益	17,102	16,788
営業外収益		
受取利息	74	74
仕入割引	154	140
持分法による投資利益	37	28
その他	675	571
営業外収益合計	942	815
営業外費用		
支払利息	576	474
その他	476	297
営業外費用合計	1,052	771
経常利益	16,991	16,833
特別利益		
固定資産売却益	1	55
投資有価証券売却益	43	—
補助金収入	137	112
その他	20	6
特別利益合計	203	174
特別損失		
固定資産売却損	31	—
固定資産除却損	110	136
減損損失	—	42
災害による損失	115	293
復興寄付金	—	450
その他	65	0
特別損失合計	322	922
税金等調整前四半期純利益	16,872	16,085
法人税、住民税及び事業税	5,415	5,342
法人税等調整額	△ 41	△ 226
法人税等合計	5,373	5,115
四半期純利益	11,498	10,969
非支配株主に帰属する四半期純利益	138	183
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,360	10,786

損益の状況

営業収益 3,586億円 前年同期比 ▶ 99.7%

- ・営業収益のうち、売上高は前年同期比1,576百万円(0.5%)減少し、341,652百万円となりました。また、営業収入は前年同期比343百万円(2.1%)増加し、16,973百万円となりました。これは、主に前期の新設店舗及び熊本地震被災店舗の営業再開の通年稼動の一方、既存店売上が伸び悩んだことによるものです。
- ・売上総利益は、75,461百万円(前年同期比271百万円減)となりました。売上高対比では22.1%となり前期に比べて横ばいとなりました。
- ・販売費及び一般管理費については、前期の新設店舗の創業経費が減少したほか、経費抑制に努めた一方、主に人件費等の増加により、前年同期比385百万円(0.5%)増加の75,646百万円となりました。売上高対比では22.1%となり前年同期に比べて0.2ポイント上昇しました。
- ・これらの結果、営業利益は前年同期比313百万円(1.8%)減少の16,788百万円となり、売上高対比は4.9%と前年同期に比べて0.1ポイント低下しました。

経常利益 168.3億円 前年同期比 ▶ 99.1%

- ・営業外収益は、前年同期比126百万円(13.4%)減少の815百万円となりました。一方、営業外費用は、支払利息及び支払補償費の減少等により前年同期比281百万円(26.8%)減少の771百万円となりました。
- ・これらの結果、経常利益は前年同期比158百万円(0.9%)減少の16,833百万円となりました。売上高対比は4.9%と前年同期に比べて0.1ポイント低下しました。

親会社株主に
帰属する
四半期純利益 107.8億円 前年同期比 ▶ 94.9%

- ・親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比574百万円(5.1%)減少の10,786百万円となりました。売上高対比は3.2%と前年同期に比べて0.1ポイント低下しました。

[連結] キャッシュ・フロー計算書

	単位:百万円	
	前第2四半期 H29.3.1~H29.8.31	当第2四半期 H30.3.1~H30.8.31
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	16,872	16,085
減価償却費	7,938	7,661
減損損失	—	42
災害損失	115	293
のれん償却額	525	443
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 70	105
受取利息及び受取配当金	△ 128	△ 140
支払利息	576	474
持分法による投資損益(△は益)	△ 37	△ 28
補助金収入	△ 137	△ 112
投資有価証券売却損益(△は益)	△ 17	—
固定資産売却損益(△は益)	29	△ 55
固定資産除却損	110	136
売上債権の増減額(△は增加)	△ 2,998	△ 2,332
たな卸資産の増減額(△は增加)	412	146
仕入債務の増減額(△は減少)	5,638	2,862
その他	△ 272	4,087
小計	28,557	29,669
利息及び配当金の受取額	103	117
利息の支払額	△ 593	△ 491
補助金の受取額	4	112
災害損失の支払額	△ 1,992	△ 121
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△ 7,109	△ 7,834
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,969	21,452
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 16,367	△ 11,598
有形固定資産の売却による収入	266	317
無形固定資産の取得による支出	△ 504	△ 946
投資有価証券の取得による支出	△ 3,248	△ 719
投資有価証券の売却による収入	502	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	26	—
短期貸付金の増減額(△は増加)	△ 157	△ 181
その他	442	195
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 19,041	△ 12,932
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	11,660	5,390
長期借入れによる収入	2,000	—
長期借入金の返済による支出	△ 12,579	△ 11,014
自己株式の取得による支出	△ 1	△ 5
配当金の支払額	△ 2,364	△ 2,866
非支配株主への配当金の支払額	△ 28	△ 34
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△ 95	—
その他	△ 55	△ 41
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,466	△ 8,571
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,537	△ 51
現金及び現金同等物の期首残高	10,342	8,389
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,804	8,338
現金及び現金同等物の残高		83億円

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー 214億円の収入

会社の本業である営業活動によってどれだけの資金を獲得したかを表したものです。

- ・主要な収入項目は、税金等調整前四半期純利益16,085百万円、減価償却費7,661百万円及び仕入債務の増加額2,862百万円です。
- ・主要な支出項目は、法人税等の支払額7,834百万円及び売上債権の増加額2,332百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フロー 129億円の支出

店舗新設等の設備投資や有価証券投資など期中の投資活動による資金の増減を表したものです。

- ・主要な支出項目は、有形固定資産の取得による支出11,598百万円です。これは主に、店舗新設等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー 85億円の支出

営業活動および投資活動を維持するためにどれだけの資金を調達あるいは返済したかを表したものです。

- ・主要な収入項目は、短期借入金の純増減額5,390百万円です。

- ・主要な支出項目は、長期借入金の返済による支出11,014百万円及び配当金の支払額2,866百万円です。

現金及び現金同等物の残高 83億円

■ 会社概要

(平成30年8月31日現在)

設立年月日	昭和36年10月27日
本社所在地	広島市東区二葉の里三丁目3番1号 TEL 082-264-3211(代)
資本金	19,613,856,196円
従業員数	正社員 2,681名 パートタイマー 6,004名(1日8時間換算)
店舗数	113店舗(エクセル単独店舗12店舗含む)

■ 中国地方

66店

広島県 35店 岡山県 11店
山口県 13店 島根県 7店

■ 九州地方

34店

福岡県 18店 佐賀県 3店
大分県 2店 長崎県 2店
熊本県 9店

■ その他

13店

香川県 3店 兵庫県 3店
徳島県 1店 その他 6店

■ 役員一覧

(平成30年8月31日現在)

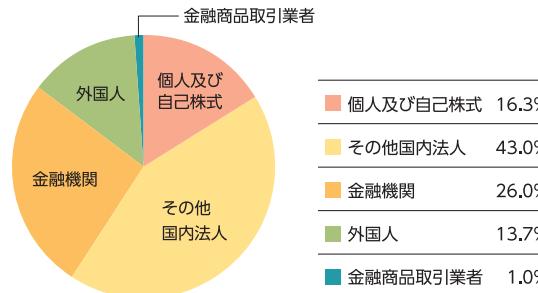
取締役会長	山西 義政
代表取締役社長	山西 泰明
専務取締役	梶原 雄一朗
専務取締役	三家本 達也
取締役	中村 豊三
取締役	本田 雅彦
取締役	似鳥 昭雄
取締役	米田 邦彦
常勤監査役	川本 邦昭
監査役	松原 治郎
監査役	通堂 泰幸

■ 株式の状況

(平成30年8月31日現在)

発行可能株式総数	195,243,000株
発行済株式の総数	71,665,200株
株主数	4,598名
1単元の株式数	100株

■ 単元株式の所有状況



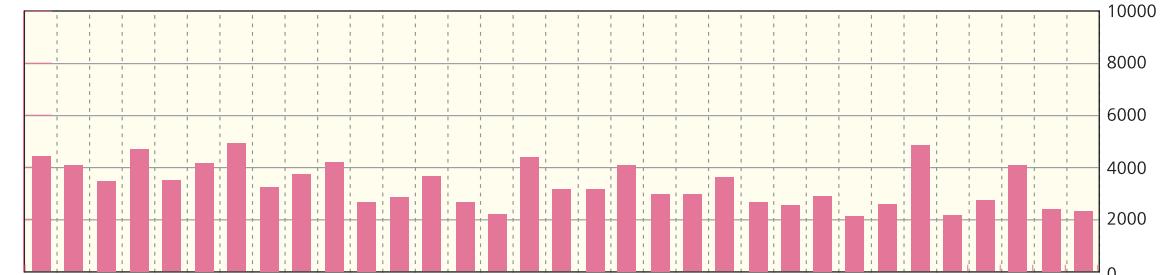
■ 大株主の状況

(平成30年8月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
山西ワールド(株)	19,935千株	27.82%
第一不動産(株)	4,208千株	5.87%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,895千株	4.04%
(株)広島銀行	2,362千株	3.30%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	2,255千株	3.15%
イズミ広島共栄会	2,157千株	3.01%
日本生命保険(相)	2,093千株	2.92%
山西 泰明	2,036千株	2.84%
第一生命保険(株)	2,030千株	2.83%
全国共済農業協同組合連合会	1,335千株	1.86%

(注)持株比率は、自己株式(6,451株)を控除して計算しています。

■ 株価の推移



■ 株主優待制度

■ 株主ご優待券またはギフト券(選択制)

毎年2月末日および8月31日現在、当社株式100株以上ご所有の株主の皆様に対して、「株主ご優待券」が「ギフト券」をお選びいただき、ご所有株式数に応じて以下のとおり贈呈いたします。

ご所有株式数	株主ご優待券	ギフト券
100株以上	20枚 (2,000円相当)	500円相当
200株以上	30枚 (3,000円相当)	
300株以上	40枚 (4,000円相当)	
400株以上	50枚 (5,000円相当)	
500株以上	60枚 (6,000円相当)	
1,000株以上	100枚 (10,000円相当)	
2,000株以上	200枚 (20,000円相当)	
3,000株以上	300枚 (30,000円相当)	
4,000株以上	400枚 (40,000円相当)	
5,000株以上	500枚 (50,000円相当)	
6,000株以上	600枚 (60,000円相当)	
8,000株以上	800枚 (80,000円相当)	
10,000株以上	1,000枚 (100,000円相当)	

※1「自社商品券」は、ゆめタウン、ゆめマート、ゆめシティ、LECTの各店舗、(株)ユアーズ、(株)ディリーマート、岡山ロッソ、(有)はなわの店舗等でご利用いただけます。専門店によっては一部ご利用できない店舗がございます。

※2「ギフト券」は全国でご利用いただけるものを贈呈いたします。

■ 長期保有特典制度

毎年2月末日時点で、当社株式を2年以上継続して保有され、かつ毎年2月末時点で300株以上保有の株主様に、現行の優待制度(選択制)に応じて、「自社商品券」または「ギフト券」のいずれかを[年1回]贈呈いたします。

ご所有株式数	自社商品券※1	ギフト券※2
現行制度に 株主優待券を お選びの株主様	現行制度に ギフト券を お選びの株主様	
300株以上	2,000円相当	500円相当
1,000株以上	4,000円相当	1,000円相当

■ 泉美術館ご招待券の贈呈

平成30年8月31日現在で当社株式を1単元以上ご所有の株主の皆様に「泉美術館ご招待券」を贈呈させていただきます。

公益財団法人

泉美術館



開館時間
午前10時から午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日
月曜日(祝日は開館)、年末年始
※展示替えによる臨時休館あり

住所
〒733-0833
広島市西区商工センター2丁目3番1号エクセル5階
TEL (082) 276-2600
ホームページ <http://www.izumi-museum.jp/>

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 每年2月末日 中間配当金 每年8月31日
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[郵便物送付先] (*)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[電話照会先] (*)	☎ 0120-782-031

(*) 平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が上記のとおり変更となっております。

インターネットホームページアドレス

<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

■ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

■ マイナンバー制度に関するお手続きについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。

【株式関係事務におけるマイナンバーの利用目的】

法令に定められたとおり、支払調書に株主様のマイナンバーを記載し、税務署に提出いたします。このため、株主様からお取引のある証券会社等へ、以下のとおりマイナンバーを届出いただく必要があります。

●証券会社の口座で株式を管理されている株主様

お取引の証券会社までお問い合わせください。

●証券会社とのお取引がない株主様

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部(上記記載)までお問い合わせください。